

麦類の赤かび病を適期に防除しましょう！

当センター（宇都宮市）では、ニューサチホゴールドデン（二条大麦）が平年より 4 日早い 4 月 14 日に出穂しました。今後 1 か月の気温は高く、赤かび病の発生が懸念されますので、以下の防除対策を参考に適期防除に努めましょう。

- ・麦類の赤かび病は、収量・品質を低下させる重要病害です（写真 1）。本病菌は、人畜に有害なかび毒（DON、NIV 等）を産生するため、農産物検査の規格では、食用の全麦種で赤かび粒の混入限度が 0.0%を超えないこと、と定められています。
- ・予防的に防除を行い、発生防止に努めることが重要です。

【防除対策】

- ・出穂や開花の状況をよく観察し、ほ場・麦種ごとの防除適期（表 1）を逃さないよう、防除を徹底する（降雨が続く場合でも、短い晴れ間を利用して防除を行う）。
- ・不稔粒が発生したほ場は、赤かび病多発のおそれがあるため、追加防除を実施する。
- ・薬剤感受性の低下を防ぐため、FRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する（表 2）。
- ・無人航空機による散布は、一般の散布とは希釈倍数（散布液量）が異なるので注意する（表 3）。



写真 1 赤かび病(二条大麦)

穎の合わせ目に鮭肉色のかびを生じる。

表 1 麦種ごとの防除適期

麦種	防除適期	多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や登熟期連続降雨時の追加散布)
二条大麦	穂揃い期 7～10 日後（葯殻抽出期※1） 写真 2	1 回目の 7～10 日後に 2 回目散布
六条大麦	開花始※2 と開花 10 日後の 2 回散布 写真 3	3 回目散布（収穫前日数に注意）
小麦	開花始※2 と開花 20 日後の 2 回散布 写真 4	3 回目散布（収穫前日数に注意）

※1：穎の先端から葯殻(受粉を終えた葯の殻)が押し出されてくる時期

※2：抽出した葯殻を初めて認めた日



写真 2 【二条大麦】
穂揃い期 7～10 日後
(葯殻抽出期)



写真 3 【六条大麦】
開花始



写真 4 【小麦】
開花始

※矢印で示す部分が抽出した葯殻

表2 麦類の赤かび病に登録のある主な薬剤（令和7（2025）年4月9日現在）

農薬名	作物名	希釈倍数 (散布液量)	収穫前日数/ 本剤の使用回数	薬剤系統名	FRAC コード
シルバキュアフロアブル	大麦	2000倍 (60～150L/10a)	14日前まで/2回以内	DMI剤	3
	小麦		7日前まで/2回以内		
ワークアップフロアブル	麦類	2000～3000倍 (60～150L/10a)	7日前まで/3回以内		
チルト乳剤25	大麦	1000～2000倍 (60～150L/10a)	21日前まで/1回		
	小麦		3日前まで/3回以内		
トップジンMゾル	麦類 (小麦を除く)	1500倍 (60～150L/10a)	14日前まで/3回以内 (出穂期以降は1回以内)	MBC剤	1
	小麦	1000～1500倍 (60～150L/10a)	14日前まで/3回以内 (出穂期以降は2回以内)		
トップジンM水和剤	麦類 (小麦を除く)	1000～1500倍 (60～150L/10a)	30日前まで/3回以内 (出穂期以降は1回以内)		
	小麦		14日前まで/3回以内 (出穂期以降は2回以内)		
ストロビーフロアブル	麦類 (小麦を除く)	2000～3000倍 (60～150L/10a)	14日前まで/3回以内	QoI剤	11
	小麦				
ミラビスフロアブル	大麦	1500～2000倍 (60～150L/10a)	14日前まで/2回以内	SDHI剤	7
	小麦	1500～2000倍 (50～150L/10a)	7日前まで/2回以内		

注1：必ず農薬容器のラベルをよく読み、使用方法・使用上の注意事項を守る。

注2：薬剤抵抗性の発達を防ぐ観点から、FRACコードが同一のものは連用を避ける。

表3 麦類の赤かび病に登録のある主な薬剤（無人航空機による散布）（令和7（2025）年4月9日現在）

農薬名	作物名	希釈倍数 (散布液量)	収穫前日数/ 本剤の使用回数	薬剤系統名	FRAC コード
シルバキュアフロアブル	大麦	16倍 (0.8L/10a)	14日前まで/2回以内	DMI剤	3
	小麦		7日前まで/2回以内		
ワークアップフロアブル	麦類	10～24倍 (0.8L/10a)	7日前まで/3回以内		
チルト乳剤25	大麦	8倍 (0.8L/10a)	21日前まで/1回		
	小麦		7日前まで/3回以内		
トップジンMゾル	麦類 (小麦を除く)	8倍 (0.8L/10a)	21日前まで/3回以内 (出穂期以降は1回以内)	MBC剤	1
	小麦		14日前まで/3回以内 (出穂期以降は2回以内)		
ミラビスフロアブル	大麦	8～16倍 (0.8L/10a)	14日前まで/2回以内	SDHI剤	7
	小麦		7日前まで/2回以内		

詳細は、農業総合研究センター 環境技術指導部 防除課（TEL 028-665-1244）
までお問合せ下さい。

病虫害情報発表のお知らせは「栃木県農政部 X(@tochigi_nousei)」、農業総合研究
センターホームページ（<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>）でもご覧にな
れます。

